

1. 標的型攻撃メールによる被害を防ぐ方策として効果がないのはどれか。（第30回臨床工学技士国家試験）
 - (ア)電子署名の利用
 - (イ)Webメールの利用
 - (ウ)利用者の教育・訓練
 - (エ)ウイルス対策ソフトの導入
 - (オ)ソフトウェアアップデートの実行

 2. ランサムウェア対策として効果がないのはどれか。（第31回臨床工学技士国家試験）
 - (ア)ファイルはすべて暗号化して保存する。
 - (イ)不審な添付ファイルのついたメールは削除する。
 - (ウ)ウイルス対策ソフトの定義ファイルを更新する。
 - (エ)OSを更新し脆弱性を解消する。
 - (オ)重要なファイルは定期的にバックアップしておく。

 3. 使用しているパソコンで、コンピュータウイルス等の不正なソフトウェアが動作していると考えられる。使用しているパソコンの初動対応として最も適切なのはどれか。（第29回臨床工学技士国家試験）
 - (ア)パスワードを変更する。
 - (イ)ネットワークから切断する。
 - (ウ)USBメモリにファイルをバックアップする。
 - (エ)システム・ソフトウェアのアップデートを行う。
 - (オ)ウイルス対策ソフトを用いてシステムのスキャンを行う。

 4. セキュリティ向上に直接関係するのはどれか。（第27回臨床工学技士国家試験）
 - a. オープンソース
 - b. スパイウェア
 - c. 電子署名
 - d. 公開鍵
 - e. プロキシサーバ
1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e
5. マルウェアでないのはどれか。（第37回ME2種）
 - (ア)ワーム
 - (イ)ウイルス
 - (ウ)スパイウェア
 - (エ)トロイの木馬
 - (オ)スパムメール